

片丘地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時: 2025/10/22 19:00~20:05頃

○場所 片丘支所

○参加者 24人

○説明者 市長、企画政策部長、建設部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

皆さん、こんばんは。市長の百瀬でございます。突然冬がやってきた、そのような1日でありましたが、今日はタウンミーティングを開催しましたところ、多くの皆様1日お疲れのところお集まりいただきありがとうございます。このタウンミーティングでございますけれども、一昨日塩尻東地区で行いまして、今日片丘地区が2か所目であります。今日私の方から片丘地区の現状やこれから予算の編成に入りますので、予算の編成のお話を差し上げながら、皆さんと対話を重ねていきたいと思っております。せっかくのこういう機会でありますので、率直な意見をオブラートに包まず、ストレートに投げただけであれば、こちらも受け取りやすいです。で、忌憚のないご意見をいただければと思います。どうぞよろしくお願いをいたします。

※(省略) 片丘地区の説明(別添資料)

※(省略) 令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

片丘地区におきましても、先日10月の11日、つながろう! 片丘開校記念の日、また夕やけの丘コンサートありまして非常に地域の皆さん、地域がどうあるかというのを一生懸命考えてまちづくりをしているような、そういうことを私も強く感じました。それに応えるように市政もしっかりと進めていかなければならないと思っております。

今、人口の数字ありましたけれども、やはり今、人口減少とか高齢化が進むという、どうしても心の持ちようとかが何か後ろ向きになってしまうとは思いますが、そういう心ではなくて、やはり前向きに捉えて、どうまちを、地域をつくっていくか、そういうまちをつくってきたいと思っております。今、縮小社会と言われてはいますが、やはりまちは人口規模に合わせて縮めていくものではなくて、きちんとまちを育てるものだと思っておりますので、き

ちんと育てるような方策を今日タウンミーティングで意見をいただきながら考えることができたかなと思っております。皆さんとしゃべる時間をいっぱいつくりたいものですからちょっと駆け足でお話をさせていただきました。

人口減少対策ということで、地域づくり協議会の中でもお話をいただいた中で、タウンミーティングで空き家を一テーマにしたいということで、空き家の件数とか、具体的な空き家対策等々、質問をいただいております。まず、今、空き家の数であります、市が把握しております、直近令和6年度の数、空き家81軒確認をしております。令和元年の古い数字ですが、戸建て数は1150ぐらいありまして、そのうちの80軒ぐらいが空き家。空き家の件数、区ごとに申し上げますと、多い順に北熊井が38、南内田が22、南熊井が18、中挾が2、内田原が1とそんな数で令和6年度把握をしている、そういう状況であります。今、内田原のお話を差し上げましたけれども、内田原って片丘の地域の中ではちょっと特性がありまして、同じ世代の皆さんが入ってきております。高齢化の比率を見ますと、65歳といっても高齢者ではないんですけども、今の時代。今、片丘の65歳以上の比率としますと、君石が一番高く、約50%内田原は17%ぐらいなんです、年次比較すると急激に増えていっていますので、内田原に関して言うと、65歳以上になる方が増えていく、そういうステージに突入したというふうに理解をしております。

私の具体的な空き家対策ですけれども、一つは発生抑制、まずは空き家が出ないようにする。次は適正管理。空き家が出てしまったら、適正に管理してもらうための指導を行っています。そしてもう一つ、活用促進であります。この3つについて進めておりまして、まず適正管理というところでございますけれども、市全体では37軒相談がありました。片丘地区では3軒の相談があって、3軒とも適正管理になるように改善をされております。また、今度、活用促進ということで申し上げますと、片丘地区からは空き家バンクという市とまちづくりカンパニーというところで連携してやっている空き家バンクというのが3軒、空き家を登録する制度がありまして、その空き家バンクに登録された3軒は3軒とも成約、いわゆる空き家の流動化が進んでいる、そういうことがございますし、空き家の整備、補助金の利用もございます。空き家に関しては、これから本当に増えていくことがありますので、私も空き家のマッチングを進めていきたいと思っておりますし、空き家の活用、様々な活用方法があると思いますので、そういったことは皆さんと顔合わせながら進めていきたいと思っております。

片丘地区は調整区域でありまして、どうしても調整区域というのは土地の流動化が進んでいません。実は普通に見れば、ここの畑に家を建ててもいいんじゃないかというところで、そん

な土地もあるんですけれども、なかなか家を建てるのが厳しい、そういう制約があります。そういうことが逆に、いわゆる周辺地域の衰退につながっているのかなということも感じております。今、市内では地区計画というのを進めておりまして、宗賀の床尾で地区計画をつくって、20世帯以上の分譲が入ったりとかですね、今、みどり湖とか柿沢、東地区でも地区計画の策定が進んでおります。そんなような制度の活用も進めながら、土地の流動化を進めていくことがありますし、当然、今申し上げた空き家の活用も進めていきたいと思っております。

今、駆け足でお話をして、20分ほど過ぎてしまいましたけれども、これから皆さんと忌憚ない対話を重ねていきたいと思っておりますので、どなたか最初の口火を切っていただきますと、次から次へとどんどん意見が出てきます。ぜひお話を最初にお聞かせいただける方がいらっしゃいますでしょうか。ありがとうございます。お願いします。

市民

着座にて失礼をいたします。先日は10月の11日、つながろう片丘開校記念の日にご臨席いただき誠にありがとうございました。その節はお世話になりました。そして、地域の皆さんにもご協力いただいて、非常に大勢の方に来ていただきまして、片丘の中心には片丘小がある、そのスローガンで準備を重ねてきました。そして成功を収めることができました。皆さんに感謝をしたいと思います。ありがとうございました。

市長もおっしゃっていたように、人口が増えないということで、片丘小学校の児童も年々減っております。そうするとつながろう片丘実行委員のやりがい失われていってしまうと、張り合いがないということになってきまして、できればそういった対策、本当に人が動く対策をとっていただきたいと思っております。私は北熊井なんですが、空き家が非常に多いです。ブロック塀も倒れてきそうなところもあったりとか、通学路で非常に危険だということで認識をしているところも何軒かあります。そういったところと塩尻市の空き家バンクのマッチングが進んでいるのかなという非常にどうなんだろうということもあります。なおかつ、そういったことで、人が住めない、人が増えない、人が引っ越せない片丘ということになってしまいました。本当に田園都市ということで、塩尻市の田園都市の全部を片丘が担っているんじゃないかっていうぐらい、田んぼはいっぱいある、ブドウ畑も増えてきた、ただ、人が増えないというところで、ぜひそういった促進住宅を、例えばなんですが、そういった空き家で活用していただいたり、あとは空き家バンクなどマッチングを進めていただいて、人が入ってこれるようにということで進めていただきたいというご要望があるということと、あと、やはり私は消防団をやっているん

ですが、入ってほしいと言っても、そういった方が若いうちは入ってくださるんですが、やはり所帯を持ったりするとこっちに住めないんだよと、違うところに出ていかなきゃいけないのでということで、地区の方に流れていってしまう。片丘でしたら広丘だとか、今、ぶどうの郷とか、そういったところに非常に流れてしまっていて、本当にもったいないなと思います。こういった山麓線の資源だとか、ブドウ畑、田んぼが並んでいて、片丘小もあって保育園もある。そういったところをぜひ、今後も私たちつながろう片丘実行委員が毎年やりがいを持ってつながろう片丘を開催できるように、それが地域の願いということでお伝えをさせていただいて、自分の意見ということで次の方にしていただければと思います。以上です。ありがとうございました。

市長

貴重な御意見ありがとうございました。今、人口減少のお話がありまして、1点ちょっと市でも把握しているかどうか確認できていないんですけれども、ブロック塀が倒れそうな通学路というお話がありましたので、そこは後で場所を教えていただいて、早急に対応できるように確認をさせていただきたいと思います。

一つ、空き家を活用した促進住宅のお話がありましたけれども、やはり他地区で空き家を活用したお試し住宅というのをやっております。特に北小野なんですけれども、やはりお試し住宅で1カ月とか試しに住んでいると、そのまま移住定住につながるケースがありますので、これは所有者の方の御理解とか、また近隣の皆さんの御理解も必要なんですけれども、もし片丘地区でお試し住宅とかを設置することができれば、そういった設置を進めていきたいと思っております。片丘地区の特性のお話がありましたけれども、私は片丘は本当に夕やけがきれいなところだと思っております。また、この朝から1日かけて松本平アルプスを見渡せる、そういった非常にいい立地条件でありますので、そこは検討させてください。

また、消防団のお話がありました消防団も今、全市的に団員不足の状況でありまして、部長をやめても、また平団員で戻らなきゃいけないと、1度消防団に入ってしまうとなかなか消防団を抜けることができなくて、それが見えてしまうと入る人がいないという、すごく悪循環に陥っております。消防団は全市的な対応で、今、消防団が集まるように市も取り組んでおりますが、明確な答えがないというのも実情であります。消防団の活用、11月の8日、今、防災フェスタやったりいろいろ活動をPRします。しっかり力を入れていきたいと思っております。

それとあと山麓線のお話がありましたけれども、山麓線も観光資源としても有用な道だと思っております。昨年の10月にいただいた要望では、やはり片丘地区の活性化振興策の研究を

目的とするプロジェクトを早期に立ち上げて、研究の早期推進を要望するというのを、片丘地区の地域づくり協議会や区長会からいただいております。片丘の地域のあり方しっかり皆さんと議論をして、北小野地区でそういったワークショップとかを開きながら計画をつくって実行に移す、そんな取り組みを進めておりまして、今年から片丘でやろうかとも思っていたんですけども、北小野でどういうふうに進むかを1年検証してみたいと思っていまして、北小野でいい動きになってきていますので、ぜひ片丘でも、そういった計画をつくって、将来の片丘の姿を定めて、それに向かっていくような形にしていきたいと思っております。やはり学校を核に、地域でつくられてきた、そういう歴史もあろうかと思っておりますので、学校が元気であると、地域全体が元気であると私は思っておりますので、子供たちが増えるような、そういう地域をつくっていききたいと思います。ありがとうございました。

市民

よろしくお願いします。先ほど市長の方からありましたとおり、内田原区に私も30の後半ぐらいに転居してきまして、25年で、あと少しで65を過ぎてしまうということで、内田原区って非常に特殊だなというのは、確かにそのとおりだと思っています。質問は違うんですけども、内田原区に住んで一番感じるのは、アンケートにあったとおり、近くに車がないと行ける商業施設がまずないということと、公共交通機関が非常に乏しいという2点に尽きると思っております。質問の内容としましては、やはりこの間、私も利用させていただいたんですけども、のる一と塩尻ですかね、非常に安くて、私の場合、予約もすぐとれて非常によかったんですけども、一方で料金を聞いたら200円で言っていたんですよ。それですごいなと思いつつ、これでは多分タクシーの業者さんと喧嘩になりやしないかというふうに感じて、地域で公共交通機関というのは、のる一と塩尻だけじゃなくて、タクシーであったり、公共のバスであったり、またほかのものだったりっていうことになっているので、そこら辺の共存共栄についてどういうお考えをしているのかというところを御意見を伺いたいなと思っております。よろしくお願いします。

市長

御意見ありがとうございます。のる一と塩尻ですけども、御利用いただきましてありがとうございます。片丘地区にも19カ所バス停を置いておりまして、まず網のようにバス停があるということと、もう一つは呼べば来るということで、予約がなかなか取りづらいときもあると

ということも理解をしておりますので、スムーズな運行ができるようにしていきたいと思っています。御質問にありましたタクシーでありますけれども、タクシー協会ともお話をしながらのるーとエリアを拡大してきております。タクシー業界も運転手が不足しております、なかなか配車のニーズに応えられていない、そういう現状もありますので、タクシー業界からものるーと運行することによって競争相手になるということではなく、タクシーともうまく共存をしながら公共交通の体系として描けております。タクシーも公共交通としてタクシー業者の皆さんにちゃんと意識を持っております。市もそういう同じ交通事業者の仲間ということで話を進めています。そこは御心配なく進んでおります。ありがとうございました。

市民

使用したときに、のるーと塩尻の担当になった運転手さんが「200円いただきます」と言ったときに、これでまたタクシーから怒られちゃうんだよねというふうにおっしゃっていたので、そこら辺どうなのかなと思ってお聞きした次第です。

市長

ありがとうございます。運転している方も、実はタクシー会社に委託をして運行をしておりますが、運転手さんの本音が出たのかなと思っております。私どもとしましては、タクシー業者は、大事な市民の皆さんの足でありますので、のるーとが運行したことによってタクシーがなくなってしまうと、それは本末転倒ですので、そういうことがないようにきちんと情報交換しております。ありがとうございました。

市民

先ほど市長の方から次年度の予算の説明があったときに、片丘地区からは地区センターの新築について令和4年、6年に要望書を出している。災害の多発する中で地区センターの新築要望を出したという経過でございますけれども、この庁舎、昭和57年の新工法でつくったときの建物でございます、耐震化もさることながら、高齢化対応が全くできていないというような状況でございます。全体的にこういう災害がふえてきている、あるいは高齢化が急速に進んでいるという状況の中で、この地区センターの新築については、早期に進めてほしいという区民の声もあったものですから、要望書として2回にわたってお出しをしました。先ほどの市長の

お話ですと、計画の中には入っていますよというような話がありましたので、非常に安心はしましたけれども、具体的にいずれまた何十年後というところの人はいなくなっちゃうくらいの方になって、いつ災害が発生するかもわからないような状況の中で、やはりその見通しについて明確にさせていただきたいというふうに思っています。すぐ来年、再来年ということは無理だというふうに思いますけれども、今日来ていただいて感じたように2階で会議やっているんですけども、70過ぎた人たちが高齢化でなかなか階段すら非常に難しくなって、会議には出たくないというような状況にもなっていることも事実でございますので、当面の対応策として、1階を改修して1階を会議室にするとかというようなことも含めて、早急に予算化をさせていただきたいというふうに思います。具体的に計画が見えているなら、それについては御回答をお願いしたいというふうに思います。

市長

ありがとうございます。結論から申し上げますと、まだ具体的な計画は見えておりません。ただ、この施設そのものは、御指摘のとおり、私も何回来ても2階にこの施設があるというのは今の時代にはそぐわない、いわゆるバリアフリーであったり、ユニバーサルとか、そういう視点からしても非常にそぐわない施設だと思っております。1階の畳の部屋を会議室に転用できないとか、そういうところも考えてはいるんですけども、今度あそこを会議室にしまうと、畳として使っている皆さんもいらっしゃるようで、うまく調整がつくのかなとかあります。

今、市全体では公共施設をどういうふうに配置をしていくかという全体計画を立てておりますので、そういった中で、この地区センターのあり方というのは、一つ、片丘地区にとっては大きな要素だということは理解をしております。少しでも前に進むようにしたいと思っておりますし、農協さんのところも活用したらどうかとか、そういう御提案もいただいておりますので今あるものを生かしながら、やはり新築とか新しく建てることって結構期間がかかることでありますので、今この状態を解消できるような策は見つけていきたいなと思っております。ありがとうございました。

市民

第6次の計画ですので、長期に渡りますので、その中に入っていないと、やはり近いうちに建てるわけではないということが見えていますので、具体的にいつごろというのはやはり早急に盛り込んでいくということが大切なことだというふうに思いますし、この高齢化の実態からし

て、市長の言われるとおり2階に会議室云々という話、これではやはり活性化も含めてやはり難しくなるので、高齢化対応、活性化のためにも、ぜひ早急に具体化していただきたいということを要望しておきたいと思います。

市長

ありがとうございます。また、具体的な形でお示しできるような、そんなことも進めていきたいと思います。ありがとうございます。

市民

何点かお願いしたいと思います。まず1点目ですけれども、若い人たちがなぜ片丘から逃げていっちゃうか。新しい家を建てられない調整区域だと。この調整区域は何とか緩和できないのかというのがまず1点あります。工業団地は高出とか、広丘とか吉田とか、そっちどんどん建っています。畑、田んぼをつぶしてそれを目指して片丘の若い人たちは出ていってしまうんです。若い人たちが出ていくということは、子供も少なくなってしまう。出ていかないようにするためには、やはり片丘の地に自由に家を建てられる条件が必要になってくると思いますので、ぜひその辺を検討していただきたいと思います。

2点目ですが、片丘地区はぶどうもつくっている人が多くなっています。普通の野菜とか、そういうところの面積はかなり減ってきちゃっている。ぶどうづくりの人たちには、例えば海外からの人が携わっているところもあります。そういう新しい入居者に対して、区あるいは常会が仲間に入れてあげられないということもあります。だから、常会、区の中で、こういう新しい移住者をどういう形で持って仲間に入れて、入らない人ももちろんいますけれども、どういう形でその人を応援していけるか、こういう対策も必要ではないかと思いますので、その辺もぜひ検討していただきたいと思います。区の活動、常会の活動を含めてですけれども、そういう環境をつくってあげることも必要だと思います。

最後ですけれども、私は実を言うと、交通安全協会の役員ですが、片丘地区が脱退、高齢化、それから時間がないということで、どんどんどんどん役員をやめていってしまいました。けれども、この状況は非常に切ない状況じゃないかと思います。交通安全協会も大門が脱退し、東部が脱退し、北小野が脱退しています。すなわち、何を自分たちにどういう活動をするかというのを見つけられない状況になっています。交通安全運動についても、市でもってやっているとところかなりあります。昔は支所でも市の関係が事務局になって交通安全運動を展開して

いたわけですが、今はそうじゃない。こういう中で、やはり新しい形をつくって交通安全運動をしていかなきゃいけないと思います。塩尻市が先頭になって塩尻地区の交通安全運動を担っていくということも考えてもらいたいと思います。各地区、区長さんもそうですが、行政の中でどういう形でもって交通安全運動をしているか、そういう情報も知らない人もかなりいます。それぞれの課でもって交通安全運動をやっている子供の見守り隊、福祉の関係では老人の交通安全、その他小学校は教育の関係でやっているとそういうのを一目で見れるような交通安全運動の仕組みというような形を広報に載せていただきたいと思います。以上3点お願いしたいと思います。

市長

ありがとうございます。今、3ついただきました。まず一つは、やはり家を建てるのは非常にハードルが高いというお話であります。それに向けまして、やはり地区計画という手法が有効ではありますが、一度南内田で検討もしたんですけれども、なかなか前に進まなかった、そういうようなことがあります。地域の皆さんの合意を得ながら、今現在、調整区域でやはり家を建てるには地区計画が一番スムーズな方法だと思っておりますので、またこれは地域の皆さんと建設の方と調整しながら進めていきたいと思っております。今、東地区では結構また動きが盛んになってきておりますので、後で部長に補足はしてもらいますが、それが一つだと思っております。

また、今区に入るとか、外国人の方のお話がありましたけれども、片丘も住民基本台帳上は41人、外国の方がいらっしゃいまして、片丘全体で3600人ですので、やはり1%ちょっと100人集まれば一人は外国籍の方がいる、そういう状況であります。市全体ですと2.6%ぐらい、今、外国人の割合になっていきますので、そういった方が入れるようにしたいと思って、地域の中で常会とかうまくやっていくようにしたいと思っております。先ほど申し上げました北小野地区が今、北小野地区の教科書というのを移住してきた皆さんがつくり始めております。その教科書の中に、どうやったら地域の皆さんと入ってきた人がまず仲良くするか、今まで住んでいる人がどう受け入れるかということをきちんと明記をするような方向で進んでおりますので、そういったものもつくっていききたいと思っております。今、ぶどう栽培は本当に盛んでありまして、今年の日本ワインコンクールでは片丘産のワインがドメーヌ・コーセーさんのワインが金賞をとりました。日本のトップワインになっております。そこに携わる外国の方も片丘いらっしゃいますので、そういった皆さんいろいろ共に共生することが大事だと思っております。しっ

かりとそこは進めていきたいと思っております。

そして、安協の話がありました。安協では本当にいろいろとお力をいただいております。ありがとうございます。安協各地区それぞれがやはり今、安協の活動を停止している、そういう状況があります。交通安全運動が始まるときの街頭啓発をやりますと、今、昔に比べると本当に安協がなくなってしまった影響もあると思いますが、人が減ってきてしまっている、そういうのを感じております。市としまして、広報というお話がありましたので、安協の活動もありますし、市が安協の活動をやるというところまではすぐには行けないと思うんですけども、これは他の自治体とか、そういったところの動向等も見ながら進めていきたいと思っております。安協の活動については、しっかりとこういう活動をされているというところをPRしていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

行政の中で例えば建設課の中には安協の部門があります。昔は塩尻市役所の中にも交通課という課があったんですね。今はそれ一緒になってなくなった。だけれども、福祉の関係のところでは、高齢者の交通安全を運動しているところも多々あります。教育の中でも、小学校の交通安全教室とか、そういうのをやっているところがあります。市の方でも交通指導員がいます。そういったような活動を片丘の区の関係の人たちが知らないことがあるから、市でやっている安協活動を広報で知らせてほしい、こういうことを申し上げたんです。

市長

承知いたしました。すみません、さまざまところで交通安全の活動をしております。通学に関しても、区と学校とが一緒に見たりしていますし福祉の関係もやっていますので、そういったところは今日ちょうど広報の担当も来ておりますので、広報でPRできるようにしていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

もう一ついいですか。農地の関係ですけれども、農地もたくさんあって農道があります。白線引きは安協はやらないことになりました。農業に関する白線引きはどういう対応をしていくか。農道も線がないと交通事故等も起きると思います。農道であっても、一般の人たち、知らな

い人は道があるから通れると思っています。それと、カーブミラーの管理。そういったもの、または標識の管理、それも市としてやっていくのかどうかを区の方に委託する計画があるのかなのか、それも含めてお願いしたいと思います。農道については、道に農地の土が出ちゃっているところが結構あります。そういうものをどういうふうに整備されていくかというのも課題になると思いますけれども、今日の中では一応課題ということだけで申し上げたいと思います。以上です。

市長

はい、ありがとうございます。市道、農道、連携をしながら管理をさせていただいております。また、片丘地区とか犬原のあたりは、雨が降るとすぐ土が道路に出てしまう、そんなような状況も確認しておりますので、しっかりと適切に管理できるように努めていきたいと思います。ありがとうございます。

どうぞお気軽にお願いします。

市民

自分の質問の前に先立って、地区センターの話が出ていましたが、地区センターの課題として、高齢者対策ということを言われましたけれども、そういったことよりも何よりも、ここは避難所、避難施設になっているわけです。ところが避難施設になっているのに、災害の対応ができていない、つまり、崖下というか、これは当然危険な場所なんですから、そういう意味で、高齢者対策とか老朽化とかよりもっと前倒しをしてほしいと。そういう意味で、これはやはり人口、環境のこともありますけれども、とにかく住民は避難場所になっている。この危険箇所になるというのは非常事態だと私は思っています。

もう一つ私自身気になっていることなんですけれども、高齢者が増えている中で、非常に交通の問題というのが課題になっています。私は社会福祉協議会の時にもお話ししましたがけれども、片丘で送迎やっているのは私ひとりになっちゃったということで、市の方とすれば地域振興バスもあるし、のるーともやっているじゃないかって言うかもしれないけれども、実際に本当に体の弱い人というか、困っている人はドアtoドアというのが基本というか、のるーと、私も知り合いがいるんですけれども、病院に行くときはいいけど帰りの予約が不定期で取れないということで、だから行くときも結局私の方にまわってきちゃうということがありますけれども、そういう点ではやはり公共交通というのは定置点で乗って定置点で降ろすという、そ

ったことも非常にやっぱり苦痛という人も多いので、特にこれから多くなると思いますので、お金がある人はタクシー呼ぶというかもしれませんが、やはり経済的にとか苦しい人も数多く増えてきていますので、何とか送迎対策ということをやってほしいと思っています。こないだ飯田に行ったときに飯田の公共交通を見て来たんですが、飯田市は土日祝日については住民の乗り合いバス巡回しているんですけども、これ乗る時は定点なんですけれども、降りるのはどこでもいいというような、もちろんのるーとの中での話ですけども、何か大型バスということではなく、何か工夫をできないかということをいつも思います。できたらお願いします。

市長

ありがとうございます。まず1点、地区センターの話がありましたけれども、私ども避難所としての機能としても、いささか課題があるということは理解をしておりますので、そんなところも含めて検討していきたいと思っております。また、のるーとでありますけれども、やはり片丘地区、坂が多いというのもありまして、私も選挙のときにまわったときにバス停にすら行けないというお声を伺いました。そういったところでのるーとで、前の地域振興バスよりは幾らかは改善をしているんですけども、そもそも歩行器とかで歩きながらバス停行けるかといえ、そういう状況ではないと思っております。そういったところをつなぐのには、やはり地域の皆さんのお力というのが必要かなと思っております。今洗馬と北小野では、やはり地域の皆さんがバス停まで連れていったりとか、状況によっては目的地まで連れていくような、そんな活動が始まりつつありますので、片丘でもそういうようなところがうまく機能していけばいいのかなと一つ考えておりますし、もう一つ、ちょっと飯田の事例参考にしていきたいと思っております。

北小野地区でグリーンスローモビリティといいまして、ゴルフのカートみたいなのに皆さんが相乗りをして買い物できるところまで行くとか、そういう取り組みも実証でやったことがあります。住み慣れたところでずっと暮らしたいという要望がある中で、やはり交通がネックになってしまって、地を離れていくという方がいらっしゃいますので、やはりそういった方が自分の住んだところで一生暮らせるような、そんなまちづくりに交通というのは非常に大切だと思っております。ここは地域の皆さんの力も借りながら、知恵を絞って進めなければならない課題だと思っております。私、これからのまちづくりで選ばれるまちというのは、やはり交通体系が整ったまちというのは選ばれていくと思っております。交通的に安全である、そういうのもそ

うだと思いますけれども、そんなところまで見越しながらまちづくりを進めていきたいと思います。ありがとうございます。ほか、いかがでしょうか。

市民

このような機会も私としては最初で最後だなと思って、思い切って手を挙げてしまいましたけれども、私はこの11月で片丘地区の主任児童委員を6年務めました。その中で6年間、子どもたちのために私は何ができるだろうかとずっと考え続けてきましたけれども、なかなか思うように行動ができずに、今、反省をしているところです。その中で気になるところがあって、今、高齢者の方の心配をしていますけれども、やはり子どもをもっと大事にしてもらっていいかなという気持ちもあります。私は主任児童員という立場だからそうなったと思いますけれども、例えば小学校については特別支援学級があって、そこへ私は今重点的に顔を出して、お手伝いできないかなと考えています。

一昨年から無人の販売店をつくりまして、ボランティアの皆さんがつくった野菜とか、それから子どもたちがつくった作品とかを売ってお金を得ることをしています。今からお金に対する扱いを学んでいくということが大事だということで、こういうふうに賛成していただいておりますけれども、実は昨年はその子どもたちが詳細を私は理解していませんけれど、塩尻市のマイクロをお借りしてバスハイクをやっているんですね。それで、小坂田とかラウラ行っていると思うんです。それがどうも楽しかったという話があって、今年もやっていきたいという気があるようです。ですけども、子どもたちも稼げる範囲も限られています。バス代も普通のバス会社に頼むと多分7万とか8万ぐらいかかっちゃうと。そんなお金はとてもじゃないけど無理ですと言って、クラスでもバスハイクを含め色々活動をしたいというのがある。それを考慮すると、もうバス代なんて到底できませんと。市の方のバスは塩尻中の小学校で、そういう希望が出るわけじゃないので、特別片丘小学校だけというわけにはいきません、という反応らしいんですけども、それももしバスが出せないのであれば、お借りできないのであれば、補助的なお金の面で具体的には言えませんが、少し援助していただくと、子どもたちの思い出作りに役立つかなと思っています。今年はお金がないので、公共の乗り物、電車とバスを乗り継いでいこうと今考えているようです。それも子どもたちにしてみるといい経験になるので、それも勉強だよねと担任の先生と話をさせてもらってますけど、できればそうしたところも配慮していただければ、うれしいなと。思い出作りはやりかえしできないので、あのときに楽しかったよねって、これはとにかく大事なことなので、そういう気持ちを私は芽をつくりたいし、

別に電車とバスがいけないとは思っておりませんけれども、みんなでわいわいやりながら楽しく過ごせれば、そういう時間も大事なかなと思っています。

2点目、保育園のことですけれども、片丘保育園はとにかく雑草も元気で、園の周り雑草だらけでした。園庭は当然草だらけで、私は見るに見かねて少しお手伝いさせていただきました。市の関係の方で園の草刈りや手入れをしていただいたということを私はあまり見かけなかったような気がします。しかし、先だって保育園に行く機会がありまして、行きましたら、市の保育園の関係の方だと思います。係の方から多分シルバーをお願いして、シルバーが施設の方が5名ほど来ていただいて、みんなで草取りをしていただいて、きれいになりました。あまり見かけなかったものでどうなったのかなと思って、これからもしそういうシルバー今回は施設の方だったらいいんですけれども、そういう方に少しお手伝いいただいて、園をきれいにさせていただいて、子供たちが雑草で元気いっぱい保育園に行くのもかわいそうだなと思っております。そういう環境整備の園長や職員の方に頑張れなんて言えないので、できたら市の方で少し要請していただいて、きれいな園に帰る子供たちにさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

市長

ありがとうございます。まず、主任児童委員としての活動をありがとうございます。今、2点いただきました。まず1点、バスのお話がありましたけれども、バスの方ですけれども、各学校からそういう要望がありまして、予算を今までは市の方であれ使え、これ使えというふうに結構使途を限定していたんですけれども、学校に対してざっくりとした形でお渡しをして、学校の裁量で使い方が決められるように変更はしているんですけれども、今のお話ではまだまだ予算が足りないという、そういうお話だと思いますし、やはり思い出をつくるとか、体験をする、それも大事でありますので、そこはまた来年度の状況に向けてやるとすると、片丘小だけとはいえないものですから、市一律の動きになろうかと思えますけれども、しっかりと子供たちが思い出に残る経験ができる、そんなような形にしていきたいと思えます。特別学級の生徒、やはりこの地でどういう経験をして、心にうんと残りますので、そういう心に残るものを私どもは提供できるような環境を提供しなきゃいけないと思っていますので、検討させてください。ありがとうございます。

そして、もう一つ、保育園の草取りの話がありました。この草取りは、道もそうなんですけれども、今こういう天気なものですから、草が猛烈な勢いで伸びていて、とても手に負えない状

況があって、御迷惑をかけております。保育園に関して言いますと、今、保育士不足で働き方改革しております。保育士は保育士の免許がある、保育に専念をできるように、保育士の働き方改革をして、草取りとか、保育の免許がなくてもやれる仕事は外に委託をしたり、そういうような形で保育園の改革を進めておりますので、恐らくシルバーの方もしかしたら障害者の就労支援の事業所がありますので、そういった方が草取りに行ったと推察をしております。きれいな環境で育つ子供は、将来的に自分の周りもきれいにしていって、そういう環境のいわゆる動機づけて大事だと思いますので、貴重な御意見をいただきました。常に子供が育つ環境、きれいな環境であるよう努めていきたいと思います。ありがとうございました。ほかいかがでしょうか。8時を回りましたが、もし最後をお一方これだけはこの方があればお願いします。

市民

今、高齢化率が高くなっているという市長からお話がありました。ここに歳出という予算はあるんですけども、中はよくわからないので高齢者に向ける、例えば福祉施設に対する予算がなくなったとか、減額されたということはないわけですね。これから、逆に言えば、増やす傾向なのか、そのまま継続していく傾向なのか教えてください。

市長

御質問ありがとうございます。これから必要なところは増やしていかなければならないと思います。この11月からは、いわゆる補聴器の補助を始めたりしました。増やすところは増えてきますけれども、言葉の表現の問題になると思いますが、高齢者の福祉の関係はこれから必然的に増えていく、そういう状況になっていきます。なので、今と同じことをやっていけば当然その制度とかを利用する方がいますので、高齢者に対するお金は増えていきます。

市民

デイサービスとか、そういうのをやっていますよね。そういうのも減らしてはいないわけですね。

市長

減らしていません。

市民

わかりました。

市長

そこはしっかりと高齢者をサポートするといいますか、いろいろサービスはやはり使う方がいらっしゃるので、そこは減らしてはいませんが、今と同じサービスを提供していてもお金は増えていく、そういう状況にこれから入っていきます。ありがとうございました。

はい、皆さんよろしいですか。では私の方から一言御挨拶させていきたいと思います。先ほどタウンミーティング開催される中での最初で最後の機会になるかもしれないというお話もありましたけれども、ぜひともまたこういう機会を私はつくっていきたいと思いますので、また足を運んでいただいて、貴重な意見をいただければと思っております。また、このタウンミーティングによらず、極力地域の中に足を運ぶように努めておりますので、私自身も地域の中の行事ってなかなか伝わってこないの、皆さんこんなことがあるから、ちょっと時間があったら来てくださいとか、そういうお声がけをいただければ積極的に出て行って意見を聞きたいと思っております、今日は片丘地区のお話をいろいろ聞くことがございました。要望をいただいております地区センターの話もありますし、やはりこれからの片丘地区をどうつくっていくか、これは私どもだけではなくて、やはり皆さんと一緒に考えていかないと解決できない問題だと思っておりますので、引き続き御意見をいただいきたいと思っておりますし、先ほども申し上げましたが、やはり発想はやはり前向きといいますか、やはり未来志向でいくことは非常に大事なかなと思っております。小さなことの積み重ねが大きな成果を生むこともございます。市としましても、片丘地区のために一生懸命働いてまいりますので、どうかどうかそれ以外の皆さんの力が必要ですので、引き続きお力を貸してください。今日は大変貴重なタウンミーティングになりました。どうもありがとうございました。